

全 員 協 議 会 記 録

令和4年10月27日(木)
13時30分～14時43分
議 場

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長
肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、足立議員、村武議員、
川上議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

〔事務局〕 局長、次長、大下書記

【全国市議会議長会・令和4年度総務大臣感謝状贈呈の伝達】

議 題

- 1 第2回はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて
- 2 第2回はまだ市民一日議会の反省点等について
- 3 その他
 - (1) 年末調整について
→事務局への提出〆切 11月15日(火) 17時

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

〔 13時 30分 開議 〕

笹田議長 | ただいまから全員協議会を始める。早速議題に入る。

1 第2回はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて

笹田議長 | 最初に今回滞りなく行えたことに関して、議会広報広聴委員会の皆様には深く感謝する。議員には議会としての対応案を提出いただいているので、参考にしながら進めたい。1件ずつ進める

(1) 「学生の地域活動の現状と浜田市における地域交通」の議会としての対応について

笹田議長 | 皆の意見を集約すると、総務文教委員会で協議すべきとした方が15名、一般質問で取り上げたい方が2名、勉強会・研修会をすべきという方が1名、議連を立ち上げてやるべきとした方が1名おられた。その中で意見があればお願いします。

芦谷議員 | 議会でももちろんその辺のことは取り上げて後押しするのは大事だが、むしろ執行部にそのまま返し、執行部で検討してもらおう。その際に議会の思いを腐心して、市長をしてやってもらう案件だと思っている。

笹田議長 | ほかに。芦谷議員の意見への質疑でも構わない。しっかり議論してから決めたい。

三浦議員 | 寺迫氏から現状をこのような形で伺い、現状がどうなっているのか、彼からの話だと旭の件とのことだが、全市的にこういう事例があるのか、今の地域活動はまちづくり委員会や交付金も出ている中で対応が本当にできてないのか。実態を執行部からヒアリングした上で、先ほど芦谷議員がおっしゃったように、新しい制度設計があれば議会として提言に向かっていけばよいし、現状の枠組みの中で対応できることであれば、しっかりした情報発信を執行部に求めていくといったことを、所管委員会の所管事務等で取り扱って返していけばよいのでは。一般質問で取り上げたいという議員もおられるので、そこで中身が解決できればそれはそれで回答ができるのではと思う。

芦谷議員 | 県立大学には地域連携室というものがある。市にも大学との連携部署がある。したがって市長をしてそういった部門で問題点を詰めながら、議会が関与する場合はしてもよいと思うが、まずはその両部門でやってもらおう。

笹田議長 | 芦谷議員の意見もわかるが、今回まず議会としてどのように取り組むかを課題として上げて、そこから協議していきたい。今言われた県立大学の地域連携室へ直接言うといったことではなく、議会にいただいた意見を、しっかり議論した上でそういうところにも返していけたらとは考えている。ほかに。

上野議員 | 三浦議員も言われたが、やはり現状をしっかり把握する。私も一般質問に取り上げると書いたが、今はまちづくりや地域のために来てくれる子どもたちのために何かできないかという声を拾い上げている最中である。現状把握を皆でやりたい。旭だけの問題ではなく。

田畑議員

寺迫氏の話だが、地域公共交通は非常に利便性が悪いとおっしゃっているのだろうと私は思う。先ほど、まちづくり総合交付金で対応するなどの話もあったが、まちづくり総合交付金はまた別の問題なので、これはやはり所管事務調査、もしくは担当である総務文教委員会で実態を十分調査した上で、不平等のない地域公共交通を行政に実施していただきたい。

私も過去、旭町都川の方について一般質問したことがあるが、一向に前進してないということなので、もう少し常任委員会を通じて強力に扱っていただきたい。

佐々木議員

市民一日議会が終わった後、本人に直接、学生が地域活動で動くのに大学からの支援はないのかと質問したら、実はあるとのことだった。これは大学単体でやっているのではなく恐らく国か県かがやっている事業だと思うが、これが活用できればこの問題の回答の一つになると思う。ただ、申請が非常に複雑とのことだった。県の制度ならば活用がなかなかできないものを、人參をぶら下げるだけではいけないので、活用できるものにしてほしいということ、個人的に言ってもよいが議会でいわれたので総務文教委員会でそういった実態も調べながら、制度活用の中身をしっかり研究しながら。それがどうしても難しいならば、市の支援になると思う。その辺の順番も踏みながらやったほうがよい。

西田議員

これまでの地域公共交通に関する議題の多くは、高齢者の移動手段についてだった。総務文教委員会に付託する方法も一つだと思う。ただ、総務文教委員会では3、4年前に地域公共交通をテーマに1年間取り組んだ経緯があり、いろいろな先進地の研究を行ったがこれといった解決策が出なかった。浜田市の場合、地域がそれぞれ違って、高齢者の移動手段や学生の活動支援などジャンルが広がっている。根本的に、専門的に市内を把握する部署が必要ではないか。現在の状況と5年後10年後の先を見据えた現状をしっかりと捉えられる専門部署が必要ではないかと私は思った。

大谷議員

勇気を持ってここで発表されたところに敬意を表するが、とは言いながらお一人の意見ではある。現状を把握しない中で結論は出しかねる。まずは困り事・訴え事に対してどのような現状があるかを、まず所管事務調査の形で把握した上で、問題があれば議会として動くということでもよろしいかと思う。

小川議員

9名の発表者に共通するのだが、それぞれ所管があるので一応その所管に分けるのが基本的にはよいと思う。その中で、それをどういう形で取り上げるか、先ほどから出ているように所管事務調査で取り上げる方法もあろうし、執行部へそのまま情報共有という形で提供する方法もあると思う。とりあえず所管委員会に渡して、その中で検討してもらうのが一番妥当ではないか。

笹田議長

話を聞いていて、大体皆、委員会でやっていただくのがよいのではということだが、私としては市民一日議会は市民が議会に対して意見を言ったものなので、そのまま執行部に返すのはあまりよろしくない

と思っている。1回議会でしっかり議論した上でやるべきだと思っているので、総務文教委員会でこの件は所管事務に上げていただくということではよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのように進めさせていただく。

(2) 「ふるさと愛あふれる浜田へ」の議会としての対応について

笹田議長
布施議員

ご意見のある方はお願いします。

活性化のために祭りやイベントをという提案は大変よかった。しかし今浜田市が取り組んでいる祭りや行事は、コロナ禍といえどもあるので、その現状をしっかりと伝えることも大事だと思っている。ただし、毎回同じような催し物でよいのかという反省もないし、情報発信力が低い。市民に伝わらなければ他県他市の人に魅力は伝わらないという指摘はごもつともである。産業建設委員会から関係部署へ、観光協会も関係してくるので、それを交えた情報発信力・企画力を指摘するよう諮ったらどうかと思う。

川上議員

布施議員が言うように産業建設委員会で所管事務調査として、しっかり地域のイベント・祭り等について再度見直す必要があると思う。ぜひ進めていただきたい。

笹田議長

ほかに。今お2人の意見を聞いて、産業建設委員会で所管事務調査に上げて、場合によっては観光協会を巻き込んでしっかりやっていくということではよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では産業建設委員会の所管事務調査で上げていきたい。

(3) 「小さい子どもを対象とした遊園地」の議会としての対応について

笹田議長

まず皆から出された意見としては、産業建設委員会で議論するというのが17名、福祉環境委員会でというのが1名、協働のまちづくり推進特別委員会でというのが1名、勉強会・研修会をやるというのが1名おられる。ご意見があればお願いします。

串崎議員

以前私が産業建設委員だったとき、お魚市場の周囲で半日くらい過ごせるよう公園等は当然必要だと提言している。その後動きがない。産業建設委員会で追っていかねばならない重要な問題だと思っている。私は福祉環境委員会でとも書いた。

話は別になるが先般、会派で三隅発電所へ勉強会に行ってきた際、ふれあい広場に車いすで10人くらい入られた。そうした人が行きたい場所というのがあると思う。浜田市は高齢化が大変で、障がい者もたくさんいらっしゃる。障がい者の方も行けるようなものも併せて検討する必要があるのではないかとといった思いもあり、福祉環境委員会も併せて検討していただきたい。

布施議員

前期の産業建設委員会から提言を出している。お魚市場だけでなくその周辺の魅力化ということで、浜田市も浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会で協議しているはずだが、まだ回答をいただけていない。1

度提言したわけなので、その確認と、できてないなら推進も含めて強くやるべきではないかと思っている。遊園地ありきではなくにぎわい創出のために何が必要か。お魚だけでなく山間部の農産物も集めながら魅力化が必要なのではということで農協へ勉強会に行ったこともある。

また牛尾議員が提案されたように、にぎわい創出のためには石見交通に働きかけて停留所を近くに設置するよう提案して実現した。提言したもののうち、できてない部分をどうしたら実施できるのか、産業建設委員会で再度確認して関係部署に訴えるべきではないか。

笹田議長

ほかに。産業建設委員会と福祉環境委員会という話があったが、それについて意見があればお願いします。

川上議員

メインは産業建設委員会とし、その中で出てきた問題点等について福祉環境委員会から助言をいただく形で進めていきたい。

笹田議長

3名からご意見をいただいたが、産業建設委員会でやって、ほかの委員会が所管する部分は連携して話を伺う形で進めていくといった意見が出たが、それでよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではこの件は産業建設委員会で所管事務調査に上げていただく。

(4) 「中高生のための「居場所」の必要性について」の議会としての対応について

笹田議長

これについては総務文教委員会でやるべきという方が17名、一般質問で取り上げる方が2名、全員協議会で議論すべきという方が1名おられる。ご意見があればお願いします。

沖田議員

総務文教委員会で取り上げる前にまず現状把握すべき。浦辺氏の、浜田市は子どもの居場所づくりについて非常に遅れているという冒頭の指摘を真摯に受けとめるべきだろう。

やまびこ学級が北分庁舎の一角に移って随分たつが、不登校の子が増え続けるのにあの場所で果たして対応できるのかと個人的にも強く思っている。まずは担当課で現状把握した上で検討いただきたい。

三浦議員

先般、総務文教委員会に福屋の1階の跡をどのように使うか報告された。後に出てくる6番もそうだが、そういった場所が欲しいという声に応える形で執行部に動きがあるように理解している。6番の件も含め、総務文教委員会で引き続き執行部の動向を見ながら扱っていくのがよいと思う。

笹田議長

総務文教委員会で所管事務調査をやっていただくということでよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

(5) 「古着の回収を再開してほしい」の議会としての対応について

笹田議長

皆からいただいた意見は、福祉環境委員会でやるべきという方が15名、協働のまちづくり推進特別委員会でやるべきという方が1名、一般質問で取り上げる方が1名おられる。ご意見があればお願いします。

岡本議員

福祉環境委員会でという意見に同意する。エコの観点で。今、もっ

- たいないという意識が非常に薄れている。SDGsの観点も含めて取り組んでいくべきだと思うし、担当は福祉環境委員会かと思う。
- 布施議員 私は協働のまちづくり推進特別委員会では取り上げたかどうかと提案している。今、組織ありきで草刈りや自主防災といったメニューはあるが、男性の話し合いが多く、女性の出番づくりのメニューの一つになるのではないかと。断捨離で不要なものを捨てるのはよく耳にするが、リユースして違う要素で使っていく、または発展途上国に送ることを再開してもよいが、主立った活動は女性の立場で。家の古着などを管理されているのは女性が多いと思うので、新しいメニューとして協働のまちづくり推進特別委員会の中で協議したらどうか。
- 芦谷議員 11月からこれまで収集できなかった枝木や草は束ねれば収集できるように変わる。したがって問題は、市民の生活の現場のことなので、地域にある環境清掃指導員をしてしっかり市民要望、地域の実情を聞きながらやることだと思う。福祉環境委員会に付託されてもよいが、実態はそういうことである。
- 肥後議員 古着の回収がなくなったと言われるが、なぜなくなったかを調べることで、古着のリメイクを通じて捨てる衣服を減らし、また再利用・再活用することを目指しているということで、福祉環境委員会では取り上げ、リメイクを通じて再利用できるかどうか調べてほしい。
- 永見議員 古着回収を再開すべきだと私も考えている。リメイクや再利用の取り組みは、SDGsの貢献にもつながると思う。福祉環境委員会では協議していただきたい。
- 笹田議長 福祉環境委員会と協働のまちづくり推進特別委員会の名前が出ているが、それについてご意見があればお願いします。
- 田畑議員 私は福祉環境委員会では議論していただければよいと思ったのだが、先ほど布施議員の話を見ると、地域に密着した協働のまちづくり推進特別委員会では議論されたほうが、もっと市民のもとに届くように思った。
- 芦谷議員 そもそも市長部局の仕事を三つの常任委員会に付託している。したがって根本に返りその仕事はどこにあるかとなれば、当然福祉環境委員会だと思っている。
- 村武議員 私も協働のまちづくり推進特別委員会に入っているが、現在特別委員会では協働のまちづくりの仕組みについてなどを議論している。古着の回収といったことも、まちづくりを進めていく上での手段にはなると思うが、現在の特別委員会ではすぐには対応が難しいのではと感じる。私は福祉環境委員会にも所属しているので、福祉環境委員会では対応したほうがよいのではないかと感じる。
- 笹田議長 協働のまちづくり推進特別委員会の西田議員、この件について何かあればお願いします。
- 西田議員 協働のまちづくり推進特別委員会では今個別に進めているテーマがある。それに向かっているため、今の件についてはいかがかと思う。
- 川上議員 福祉環境委員会でもまずもんでいただき、その中から派生すれば協働のまちづくり推進特別委員会にも移管していただく方向でよろしいかと思う。

笹田議長

二つの意見があったが、福祉環境委員会という方のほうが多いし、先ほどの委員長の意見も踏まえると、最初は福祉環境委員会ですっきりやっていただき、関連して協働のまちづくり推進特別委員会でやることがあればそちらにお願いする形で進めていきたい。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのようにお願いする。委員会では所管事務調査で取り上げてほしい。

(6) 「公共交通機関利用者により便利を」の議会としての対応について

笹田議長

皆からの意見を集約すると、総務文教委員会でやるべきという方が16名、全員協議会でやるべきという方が1名、議連を立ち上げるべきという方が1名、勉強会・研修会を開くべきという方が2名おられた。発言をお願いします。

岡本議員

昨年の市民一日議会でこの案件は出ていた。それがどうなったのか。市が今こういう対応をしているから、自分はこういう考えを持っているのだということを発言者は言っていた。私としては昨年あった案件もこのたびもしっかり受けとめるべきである。そういう意味で総務文教委員会で扱うのがよいと思う。

笹田議長

この件、4番と類似しているということで三浦議員からは6番もという形だったのだが、これも総務文教委員会の所管事務調査で4番と関連してやるということではよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのようにお願いする。

(8) 「旧すくすく・旧Gクラブがこうなったらいいな」の議会としての対応について

笹田議長

この件の皆の意見を集約すると、福祉環境委員会でやるべきという方が8名、産業建設委員会でやるべきという方が6名、総務文教委員会でやるべきという方が3名、協働のまちづくり推進特別委員会でやるべきだという方が1名、もう1度請願を出してみたらどうかという方が1名おられた。この件についてご意見ををお願いします。

西田議員

昨年もボールが蹴られるような広い公園をという声があったし、今回もすくすく跡地がテーマで出てきた。私の日常の考え方からいくと、これこそが本当は地区まちづくり推進委員会や、あるいは自治協議会、自治会等々が地域計画書を出すのが1番よい形だろうと。こういったことに関して地域計画書を地域から行政に出していく。個人で提案されることも大事ですばらしいが、形としたらこれはやはり外ノ浦・松原地区のまちづくり推進委員会あるいは浜田の自治協議会、地元から地域計画書が上がってくるのが一番よい形だと思っている。

岡本議員

これが最終的に請願で福祉環境委員会に預けられた件だった。このことは検討を重ね、一応は容認する形。その条件として地域の方の了解を得る形で終わっている。西田議員が言われたように、地域が必要と感じ計画書が出せるのであれば、そちらのほうが正解だと思っている。したがって福祉環境委員会に振られても、多分同じ結論が出るだ

ろう。

笹田議長

前回この請願について審議したのは福祉環境委員会なので、その辺も踏まえて意見をいただきたい。

佐々木議員

委員会を変えてはいけまいという声もあるが、西田議員が言われた内容が非常に説得力があり、議会が決めるもう一つ先の、地域の声をいかに反映させるかという方策は、西田議員が言われたようなことではないかと思った。地域計画書という言葉は初めて聞いたのでよくわからないが、三隅でそういうことが進められているのかもしれない。地域が自ら計画をつくるほうがより説得力があるので、これが可能であれば協働のまちづくり推進特別委員会で進めていただきたい。

三浦議員

同内容の件は請願が採択されていて、議会としての考え方は執行部にも伝わっていて、執行部の見解が一応示されている状況かと思う。紹介議員になったときに前年度の佐藤氏だけでなく、松原町のまちづくり委員にも声がかかり、一緒の名前で出された経緯があり、地域内でもこうした課題があることは認識されているように思う。どのくらい広がっているかは把握していないが。

その上で議会としては今の請願を受けて、執行部の対応を今後見ていくという対応かと思うが、地域内でも改めてこの動きが、請願を出して終わりにならないよう地域内でぜひ引き続き協議してほしいというアナウンスは、前回も行革の特別委員会の中でそのようにそのように戻した経緯もあるので、今回の件も議会では進捗を見ていくけれども、地域内で改めて考えてみてはどうかという戻し方がよいのでは。

笹田議長

三浦議員

その戻し方とは具体的にどのような形が望ましいか。

前回行革の特別委員会に振られ、そこから個人の意見ではなく地域の声として出されたほうが議会としても取り扱いやすいという見解で戻した。請願は今福祉環境委員会が所管されていて、その流れで扱われていると理解しているので、この声があることを1度委員会で取り上げていただき、議会の現状を戻すとともに地域でも働きかけるよう呼びかけていただくのがよいのでは。

私は、公園整備は産業建設委員会だとか、まちづくりの話になると総務文教委員会だとか、いろいろな切り口はあると思うが、これまでの請願の経緯を踏まえ引き続き福祉環境委員会で追いかけていただき、場合によっては所管するほかの委員会でしっかりサポートや担当をすればよいのでは。今の時点では執行部の動きを確認して再度戻したらよいと思う。

柳楽議員

三浦議員が言われたが、私もこれまで請願を福祉環境委員会で扱ってきて、この間の委員会では採択もされ、執行部にはいろいろなことを含めて地域の声もしっかり聞きながら進めていただきたいとお願いしている。改めて今回いただいた意見を執行部に伝え、そういったことも含めてまた改めて地域とも協議を進める中で取り組んでいただきたいと伝えるのがよい。

牛尾議員

松原の複数の方から伝え聞いたことを披露しておく。子ども相手の遊具を備えたものをつくるのもよいが、もう少し優先順位の高いもの

があるのでは。公園をつくった後で草取りなど地域に任されても困ると言われた。それはどのようなものかと聞くと、例えば福祉施設が随分足りない、町なかにそういうものをつくってほしいのだという意見もあった。

笹田議長

西田議員にお尋ねするが、地域計画書を作成するにあたって協働のまちづくり推進特別委員会がかかると提出しやすくなるという考えは委員長としてお持ちか。

西田議員

協働のまちづくり推進特別委員会がかかわればどうこうということは特にないと思う。ただ、協働のまちづくりという視点から、このことを議会側から地区まちづくり推進委員会に投げかけ、すくすく跡地について地域で活用法をしっかりと考えていただいて、計画を出されることは、これこそ本当に協働のまちづくりの第一歩になるという予感がある。

笹田議長

福祉環境委員会でやるべきだという意見と、協働のまちづくり推進特別委員会でやるべきだという意見があった。どちらかでしっかり協議していただきたいのだが、これについてご意見があればお願いします。結局、この発表者の思いに少しでも近づけるように議会として議論すべきだと思う。どちらの委員会でも望みに近づくのであればどちらでもよいと私は考えているが、皆の意見を尊重して決めたい。

田畑議員

去年ほぼ同じ内容で請願が出ており、そのときは福祉環境委員会で採択している。引き続いて福祉環境委員会で議論すべきだと思う。

芦谷議員

これは要するに都市建設部の関係で、浜田は公園整備がベースにある。旧すくすくについては浜田市の都市計画において公園をつくる観点なので、産業建設委員会だと思っている。

笹田議長

産業建設委員会か福祉環境委員会か協働のまちづくり推進特別委員会か。

川上議員

確かに物をつくることに関しては産業建設委員会かもしれないが、今回の願いは子どもたちのということがあるので、子どもたち含めて地域の皆となると福祉環境委員会で従前の請願を検討されていると思うので、続けて福祉環境委員会で十分練っていただきたい。

佐々木議員

どの委員会が所管しても、やることは大体決まっている。地域の声をいかに聞き取り、地域の方と一緒にその先の計画をつくれるかということなので、その趣旨からすると協働のまちづくり推進特別委員会が少し強いかもしれない。ただ委員会内で揉むだけでは何も決まらないので、地域と一緒にやるのが根幹だと思う。

笹田議長

産業建設委員長の川上議員からは福祉環境委員会でとの声があった。福祉環境委員長の小川議員から意見があればお願いします。

小川議員

市全体の公園整備の中で考えていく必要がある。請願自体は福祉環境委員会に付託されて審査をしたが、そういう趣旨になると産業建設委員会の管轄になるのではという気持ちがある。

村木議員

私がここに再度取り上げてはどうかと書いたのは、もう1回請願を出してという意味では決してなく、最初に議長が言われた、議会として再度意思決定をされたので、再度執行部に問い合わせるという意味で、

再度取り上げてはどうかという意味だと説明した上で、今の各委員会への付託については、私としては松原町地区まちづくり委員会から請願が出たところ、地域計画書とあるが間違いなくまちづくりをつくっているのはまちづくり推進計画をつくっているはずなので、それを実現させることが協働のまちづくりだと私自身も認識している。今回こういったまちづくり推進計画を実現するための一つのモデル事業として協働のまちづくり推進特別委員会が関わるのがよい。

笹田議長

常任委員会の2人の委員長と特別委員会委員長に聞いたが、一番やる気があるのは特別委員会の委員長なので、協働のまちづくり推進特別委員会でやっていただきたい。話によると特別委員会には所管事務調査という概念がない。あくまでも常任委員会の話なので、そういった意味では調査するのは厳しいという意見が事務局から出た。そうすると西田議員から提案があった地域計画書を作成するにしても産業建設委員会から福祉環境委員会のほうでしっかりやっていくのがよいかと思う。

川上議員

産業建設委員会でも特段拒否はしないが、これまでのことがあったので福祉環境委員会がよいかと思った。どちらかの委員会となると、執行部側への意見聴取も行いながら、所管事務調査をへて対策を考えていけばと思う。

田畑議員

私は一つの区切りとして、去年も同じような内容で請願が出されて、そのときはたまたま施設の経過からいくと福祉環境委員会が担当するのが妥当だということで採択し、そのまま今置き去りにになっている状況の中、福祉環境委員会から産業建設委員会に変わるのは、やむを得ないかもしれないが、議会として筋を通さねばいけない。もう1回請願を出していただくといったことにしないと、こういうことはたびたび起こる可能性がある。再度請願を出してもらい、産業建設委員会に付託して採択して、そして執行部と協議していくのが本来の姿ではないか。

岡本議員

田畑議員の話聞いて思い出した。前回請願で出た内容は、旧子育て支援センターの案件だから福祉環境委員会に振られた。今回のような話は福祉環境委員会ではなく産業建設委員会が管轄だろうと思う。

大谷議員

一応これまでの流れで、福祉環境委員会に来ているものとはほぼ同等の内容のように私は受けとめているので、福祉環境委員会で行っていただくのがよろしいと思う。

笹田議長

この請願が出たときにどちらの委員会でやるかを協議した。公園整備として産業建設委員会に振るのか、福祉施設の跡地だったので福祉環境委員会に振るのか。結局福祉環境委員会にやってもらった経緯がある。今、皆から意見をいただいたのだが、やはり請願と大体同じ内容なので、引き続き福祉環境委員会で行っていただいて、もし産業建設委員会で協議が必要になった場合は連携してやっていただく形に収めたいがよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では引き続き福祉環境委員会ですら管事務調査に取り上げて、請願の

引き継ぎの経緯も含めてしっかり協議していただきたい。

(9) 「自助から共助・公助へ」の議会としての対応について

笹田議長

これについての皆の意見を集約すると、総務文教委員会でやるべきという方が11名、協働のまちづくり推進特別委員会でやるべきだという方が5名、一般質問で取り上げるという方が3名おられた。ご意見を願います。

三浦議員

一般の総務文教委員会で災害協定を結んでいる企業一覧なども、ちょうど執行部から資料を出してもらったところである。話の中身からも総務文教委員会で扱って議論していくものかと思う。

大谷議員

これまでの論議の中で、特別委員会はまだ選択にはないということでもよろしいかと思う。ということであれば総務文教委員会しか残っていない。三浦議員の話もあるので総務文教委員会でよろしいかと思う。

笹田議長

2人の意見をいただいたところ、総務文教委員会でやっていただくということでもよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそちらで進めさせていただく。

(10) 「文化部活動（合唱部門）の地域移行が提唱検討されている今、浜田市（石見地域）の新しい選択の模索について」の議会としての対応について

笹田議長

これについて皆の意見を集約すると、総務文教委員会でやるべきという方が16名、全員協議会で扱うべきという方が1名、一般質問で取り上げる方が2名おられた。ご意見を願います。

三浦議員

部活動の地域移行については個人的に一般質問でも取り上げたことがあるし、総務文教委員会の所管事務調査に上げたこともある。今は国の動向などいろいろなことが定まってない中ではあるが、引き続き委員会の中でも追っていきたいと思っているので、引き続き総務文教委員会で状況を伺いながらこの要望に応じていく姿勢をお返しするのがよろしいのでは。

笹田議長

今の意見でもよろしければ総務文教委員会で引き続きやっていただくということでもよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのように決定する。以上で議題1を終わる。

2 第2回はまだ市民一日議会の反省点等について

笹田議長

(1)は発言者及び傍聴者アンケートに寄せられた意見一覧で、(2)は議員から感じたこと、気になったこと、改善すべき点を提出していただいた一覧である。運営に関しては貴重な意見をいただいている。2回行った中で課題も改めて出てくるものと考えている。今後の議会広報広聴委員会でも引き続き評価・検証をお願いしたいと考えている。その上で、この議題についてこの場で協議しておきたい点があれば願います。皆の意見をもって議会広報広聴委員会もしっかり議論できると思うので、委員外議員も気づいたこと、今後を含めて意見をいただき

- たい。
- 牛尾議員 ぜひ議会広報広聴委員会の中で議論していただきたいのは、市民一日議会を2回やって有効な結果は出ている。ただ一方で、5万市民がいて9人登壇されて貴重な意見をおっしゃった。それは5万分の9であるという考え方をすれば、それぞれの意見を非常に重要視して何とかせねばいけないという考え方は少し違うのでは。広報広聴とは広く市民の声を、声なき声を吸い上げて、さらに言えば議会基本条例に掲げてある議会報告会をそろそろ開催し、多くの市民の声を吸い上げるのが議会本来の役目ではないか。ぜひそのように検討いただきたい。
- 柳楽議員 ここに出されている意見以外で少し。私自身もここに提出はしていないが、広報広聴に対するアンケートの中で、前回の市民一日議会で自分が取り上げたことについての返しがもらえてないといった内容があった。そういう意見が出たことは大変申しわけなかったと感じているのだが、今回やはりそういうことが絶対にないようにやっていかないといけないと感じた。
- 芦谷議員 広聴機能を議会としてどうするのか。議会広報広聴委員会だけにお任せしてもよいが、もう少し議会として地域の実情や市民の声をどう聴くか整理して、その上で市民一日議会についてもありようがあると思う。議会として広聴機能の進め方をどうするか議論したい。
- 笹田議長 その具体的な意見をここで言うだけであれば非常にありがたい。あくまでも議会としての広聴機能であって個人としての広聴ではないので。議会全体として広聴機能をどのように高めていくか、今議会広報広聴委員会でもしっかり議論されている。それ以外の議員から何かしら案があれば伺えたら委員会ですっかり議論してもらえと思う。
- 田畑議員 議会基本条例では年1回以上は議会報告会を開催しようとしている。そうした中で議会広報広聴委員会に一生懸命頑張ってもらって、市民一日議会や地域協議会との意見交換をやっている。地域協議会との意見交換会で、それを議会活動に反映させようというのが最大の目的ではあるが、それぞれ五つの地域で意見交換しても、話が前に進んでないのが現状だろうと思っている。市民一日議会終了後に全員協議会を開き、こうした意見集約あるいは考え方の調整などを地域協議会との意見交換が終わった後にも、全員協議会を開いて各地域の課題を全議員に共有すべきだと思いがいかか。
- 笹田議長 貴重な意見だと思う。ほかに。
- 佐々木議員 田畑議員が言われたことにも共通するのだが、浜田市議会は広聴活動が近年盛んになっている。問題は聞いたことに対していかに相手理解できる回答ができるかが非常に重要になっている。今日はこうして全員協議会で議論し、これから考えていくわけだが、地域協議会もそうだし議会報告会で出た意見も全議員が共有し、何ができるかを議論する必要があり、それをさらに市民に返す。これが議会の信頼にもつながると思う。広聴をどんどん進めるのはよいが、しっかり回答を返してあげるといふ部分をさらに進めていく必要がある。
- 笹田議長 佐々木議員が言われたところが非常に課題だと思っている。広聴は

したものの、返していかないとやっている意味がない。ただ、アンケートにあるように何でもかんでもというわけにいかない。議会広報広聴委員会ではその基準なども悩んで考えておられる。

先ほど牛尾議員が言われた件で、先日長野で市議会議長会フォーラムが開催された。そこでやはり広報活動が滞っている議会が多い。

例として長野市議会が始めたのだが、議会報告会をハイブリット形式で再開した。来る人は来てもよいし、タブレットを使って遠方でも参加できる形にしておられた。我々もこういった機能を持っているので、そういう形でもできるのではと考えた。何かしらこういったものを使いながら今後も広報広聴活動をやっていけるのではないかと考えながら勉強した。

三浦議員

2回目の開催がこのような形で終えられたのは皆の協力あってのことで、大変感謝し安心している。ただ、複数のご指摘があったように、聞いた意見をどのように返していくかは、委員会内でも議題に上げているし、対応していかなければならない課題だと思っている。戻し方も、こちらから適切に戻していると思っても、受け取り方できちんと返してないという誤解が生じている件もある。そうした誤解は丁寧に取り除きたいし、引き続き議会としての対応を棚上げしていないということを理解していただける形で戻したい。

牛尾議員からご指摘のあった議会報告会については、今は議会基本条例の改正の中、議会報告会というのはあくまで議会の活動を報告する会であるという解釈が改めてされている。これまではコロナ対策でできていないが、委員からもその再開について指摘があり、委員会の中でどのような形で再開するか、あるいは活動がどんどん増えているのでほかの活動とのバランスなど、全体を見ながらどのように何をやるのか議論している。そういった議論を踏まえ、皆にまたお願いする形になると思うが戻していきたい。

笹田議長

引き続き議会広報広聴委員会の三浦委員長、村武副委員長には苦勞をかけると思うが、皆の意見を集約しよりよい広報広聴活動になるよう引き続きよろしく願います。以上で議題2を終わる。

3 その他

笹田議長

(1)に入る前に私から、全国市議会議長会の副会長として活動して来たのでその報告をしたい。

(以下、資料をもとに説明)

(1) 年末調整について

笹田議長

事務局から説明をお願いします。

河上局長

お手元に年末調整関係の書類を配布している。提出締め切りは11月15日火曜日である。添付書類など一式を配布している封筒に入れて事務局に提出をお願いします。

12月報酬で処理するため期限厳守してほしい。提出が間に合わなかった場合は、各自で来年、確定申告をしていただくようお願いする。

なお、年末調整が不要な方は、「年調不要」と記載して、そのまま封筒を返してほしい。配布している封筒は全議員提出なので、よろしくお願ひする。

不明な点などがあれば、事務局庶務係まで問い合わせをよろしくお願ひする。

笹田議長

ほかに議員から何かないか。

(「なし」という声あり)

以上で全員協議会を終了する。

[14時 43分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓